令和４年度 霧島ジオパーク推進連絡協議会 定例総会

議　案　書

＜報告事項＞

（１）協議会への入会者報告

湧水町長、湧水町議会議長、えびの青年会議所

湧水町商工会会長、（一社）霧島山麓湧水町観光協会代表理事

（２）学術委員への委嘱者報告

都城市教育委員会　栗畑　光博（考古学：遺跡発掘）

高原町役場　大學　康宏（考古学：古文書）

（３）パートナーシップ協定締結機関

〇公益財団法人鹿児島県文化振興財団上野原縄文の森（R4.4.1）

〇鹿児島県立埋蔵文化財センター（R4.4.1）

〇鹿児島県立霧島自然ふれあいセンター（R4.4.1）

＜議　案＞

【議案第１号】役員改選について（監事）（Ｐ１参照）

【議案第２号】協議会規約改正について（Ｐ２～６参照）

【議案第３号】令和３年度事業報告について（Ｐ７～17 参照）

【議案第４号】令和３年度収支決算及び監査報告について（Ｐ18～22 参照）

【議案第５号】第２次霧島ジオパーク基本計画（案）及び霧島ジオパーク
アクションプラン（案）並びに前期基本計画総括表について（Ｐ23 参照）

【議案第６号】令和４年度事業計画（案）について（Ｐ24～26 参照）

【議案第７号】令和４年度収支予算（案）について（Ｐ27～32 参照）

【議案第８号】日本ジオパーク新規認定申請（エリア拡大）について（Ｐ33 参照）

霧島ジオパーク推進連絡協議会の役員改選について

霧島ジオパーク推進連絡協議会規約第５条の規定により、第４条に定める下記の役員が２年の任期を迎えるにあたり、「役員改選について」を議題とする。

任　期 役　職	令和２年５月１１日 ～　令和４年４月２８日	令和４年４月２９日 ～令和６年４月２８日
監事	白坂　勝弘 （(一財)自然公園財団えびの･高千穂河原支部　所長）	**白坂　勝弘** **（(一財)自然公園財団えびの・高千穂河原支部　所長）**
監事	徳重　克彦 （(公社)霧島市観光協会 会長）	**徳重　克彦** **（(公社)霧島市観光協会 会長）**

※書面決議のため、事務局案を提示させていただいております。

※任期満了日は、総会日で変動する取り扱いとしています。

■参考資料

～霧島ジオパーク推進連絡協議会規約抜粋～　第４条、第５条関係

（役員）

第４条　協議会に次の役員を置く。

(1) 会長　　１名

(2) 副会長　　１名

(3) 監事　　２名

２　役員は、総会において会員の互選により選出する。

３　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

５　監事は、協議会の会計及び会務を監査する。

（役員の任期）

第５条　役員の任期は２年とする。ただし、再任を妨げない。

２　役員は、その任期が満了した場合でも、後任者が就任するまでの間は、引き続きその職務を行う。

３　欠員補充のため選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

～その他役員任期一覧～

役職	氏　名	任　期
会長	中重　真一　（霧島市長）	令和５年５月３１日
副会長	池田　宜永　（都城市長）	令和５年５月３１日

霧島ジオパーク推進連絡協議会の規約の改正について

【改正理由】

協議会への入会及び名称変更、学術委員の委嘱により規約改正を行うものです。

○協議会への入会

「湧水町長」、「湧水町議会議長」、「えびの青年会議所」、「湧水町商工会会長」、「（一社）霧島山麓湧水町観光協会代表理事」

○現会員等の名称変更

「小林市観光協会会長」→「小林まちづくり株式会社代表取締役」

「構成市町の担当課長（６名）」→「構成市町の担当課長（７名）」

「環境省えびの自然保護官事務所自然保護官」→「環境省えびの管理官事務所国立公園管理官」

○学術委員の委嘱

「都城市教育委員会　栗畑　光博」

「高原町役場　大學　康宏」

霧島ジオパーク推進連絡協議会規約の一部を次のように改める。

別表中「 小林市観光協会会長 」を「 小林まちづくり株式会社代表取締役 」に、

「 曽於市議会議長 」を「 曽於市議会議長 / 湧水町長 / 湧水町議会議長 」に、

「 (公社)鹿児島県地質調査業協会理事長 」を「 (公社)鹿児島県地質調査業協会理事長 / えびの青年会議所 / 湧水町商工会会長 / (一社)霧島山麓湧水町観光協会代表理事 」

に改める。

参考中「 構成市町の担当課長（６名） 」を「構成市町の担当課長（７名） 」に、「 環境省えびの自然保護官事務所自然保護官 」を「 環境省えびの管理官事務所国立公園管理官 」に改め、同参考に次のように加える。

学　術	都城市教育委員会　栗畑　光博
委　員	高原町役場　大學　康宏

附　則

この規約は、令和４年４月　　日から施行する。

霧島ジオパーク推進連絡協議会規約（案）

（設置）

第１条　環霧島会議を組織する地域（以下「環霧島地域」という。）の美しい地質遺産を、地域住民、行政等が連携して保護・研究し、教育的活用やジオツーリズムの場として利用できる環境整備を行うことにより、地域社会の活性化に寄与することを目的として、霧島ジオパーク推進連絡協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（事業）

第２条　協議会は、次の各号に掲げる事業を行う。

(1) 環霧島地域における自然保護に関する事業

(2) 環霧島地域における地質学的、生態学的調査研究に関する事業

(3) 環霧島地域の有するジオパーク資産を利用した教育啓発及び観光に関する事業

(4) 上記事業を達成するための地域連携や情報発信等に関する事業

(5) その他、目的を達成するために必要な事業

（会員）

第３条　協議会の会員は、別表のとおりとする。

２　会長は、入会しようとする者が協議会の目的に賛同し、活動及び事業に協力できると認めるときは、入会を承認し、次の総会に報告するものとする。

（役員）

第４条　協議会に次の役員を置く。

(1) 会長　　１名

(2) 副会長　　１名

(3) 監事　　２名

２　役員は、総会において会員の互選により選出する。

３　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

５　監事は、協議会の会計及び会務を監査する。

（役員の任期）

第５条　役員の任期は２年とする。ただし、再任を妨げない。

２　役員は、その任期が満了した場合でも、後任者が就任するまでの間は、引き続きその職務を行う。

３　欠員補充のため選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

（顧問）

第６条　協議会に顧問を置くことができる。

２　顧問は、会長が委嘱し、次の総会に報告するものとする。

３　顧問は、協議会に対し必要に応じて助言を行う。

（学術委員）

第７条　協議会に学術委員を置くことができる。

２　学術委員は、会長が委嘱し、次の総会に報告するものとする。

３　学術委員は、協議会に対し必要に応じて助言を行う。

（会議）
第８条　協議会の会議は、総会及び幹事会とする。
（総会）
第９条　総会は、定例総会及び臨時総会とする。
２　定例総会は、毎年１回、臨時総会は、必要に応じ開催する。
３　総会は、会長が招集し、会長が議長となる。
４　総会は、会員の２分の１以上の出席（委任状を含む）がなければ開くことができない。
５　議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
６　総会は、次の事項を審議し、議決する。
(1) 規約の制定又は変更
(2) 事業計画及び収支予算の承認
(3) 事業報告及び収支決算の承認
(4) その他幹事会において必要と認めた事項
（幹事会）
第 10 条　幹事会は、協議会の運営について具体的な検討を行い、次の事項を審議する。
(1) 総会に付議すべき事項
(2) その他会長において必要と認めた事項
２　幹事会の構成及び運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮りこれを定める。
（専門部会）
第 11 条　専門部会は、ジオパークの活動について、その必要性に応じ事業を計画し実施する。
２　専門部会の構成及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。
（会計）
第 12 条　協議会の経費は、環霧島地域の市町の負担金及びその他の収入をもって充てる。
２　会計年度は、毎年４月１日に始まり、翌年３月 31 日に終わる。
（事務局）
第 13 条　協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。
２　事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。
（委任）
第 14 条　この規約に定めるもののほか、協議会の会務の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

附　則
（施行期日）
１　この規約は、平成 20 年 10 月 14 日から施行する。
（会計年度）
２　第 10 条の規定は、平成 21 年度から適用する。

附　則
この規約は、平成 22 年 10 月 13 日から施行する。

附　則
この規約は、平成 28 年４月 11 日から施行する。

附　則

この規約は、令和３年５月 31 日から施行する。

附　則

この規約は、令和４年４月　　日から施行する。

別表

会　員	都城市長
	都城市議会議長
	高原町長
	高原町議会議長
	小林市長
	小林市議会議長
	えびの市長
	えびの市議会議長
	霧島市長
	霧島市議会議長
	曽於市長
	曽於市議会議長
	湧水町長
	湧水町議会議長
	宮崎県北諸県農林振興局長
	宮崎県西諸県農林振興局長
	鹿児島県姶良・伊佐地域振興局長
	鹿児島県大隅地域振興局長
	霧島商工会議所会頭
	(公社)霧島市観光協会会長
	南九州ケーブルテレビネット㈱代表取締役
	霧島温泉旅館協会会長
	鹿児島県上野原縄文の森園長
	霧島市商工会会長
	霧島市特産品協会会長
	(一財)自然公園財団えびの・高千穂河原支部所長
	宮崎地質研究会会長
	えびの市商工会会長
	南国交通㈱空港自動車営業所長

	えびの市観光協会会長
	霧島市国際交流協会会長
	霧島市文化協会会長
	(一社)都城観光協会会長
	(一社)都城青年会議所理事長
	都城商工会議所会頭
	霧島ネイチャーガイドクラブ会長
	霧島ジオネット代表
	小林まちづくり株式会社代表取締役
	宮交ショップアンドレストラン株式会社代表取締役
	小林商工会議所会頭
	高原町観光協会会長
	高原町商工会会長
	(一社)曽於市観光協会会長
	(公社)鹿児島県地質調査業協会理事長
	えびの青年会議所
	湧水町商工会会長
	（一社）霧島山麓湧水町観光協会代表理事

参考

幹　事	構成市町の担当課長（7名）
	宮崎県北諸県農林振興局　総務課長
	宮崎県西諸県農林振興局　総務課長
	鹿児島県姶良・伊佐地域振興局　総務企画部総務企画課長
	鹿児島県大隅地域振興局　総務企画部総務企画課長
顧　問	鹿児島大学名誉教授　岩松　暉
	鹿児島大学総合科学域総合教育学系総合教育機構共通教育センター准教授　井村　隆介
	国土交通省宮崎河川国道事務所長
	環境省えびの管理官事務所国立公園管理官
	九州森林管理局鹿児島森林管理署長
	九州森林管理局宮崎森林管理署都城支署長
学　術 委　員	都城市教育委員会　桒畑　光博
	高原町役場　大學　康宏

議案第３号

令和３年度霧島ジオパーク推進連絡協議会事業報告

令和４年度にエリア拡大を伴う日本ジオパーク新規認定申請を控えた霧島ジオパークにとって、令和３年度は、特に重要な１年となった。エリア拡大等に対応するための基本計画の見直しや構成自治体内にある遺産の発掘と整理を行うサイトカルテの整備など、今年度もプロジェクトチーム等の活動を進め実施した。

また、関連団体との連携・協働によるツーリズムの推進や新たにパートナーシップ協定を３箇所の関係機関と締結し、環霧島地域の持続可能な発展に取組むこととした。

一方、今年度においても新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できなかったイベント等が発生したが、オンラインでの取組みなど、工夫しながら事業を展開した。

１　協議会運営等に関する取組み

令和３年度は定例総会を１回、幹事会を５回実施した。内容は、予算関係、人員体制、業務連携など前回の再認定時に受けた課題解決策の協議が主となった。今後も引続き協議を重ねていく必要がある。

月日	分類	内容	場所／開催方式	参加者
5/11	主催	第１回幹事会兼ワーキング会議	オンライン	20 名
5/31	主催	霧島ジオパーク推進連絡協議会定例総会	書面	－
8/30	主催	第２回幹事会兼ワーキング会議	オンライン	15 名
10/12	主催	第３回幹事会	オンライン	11 名
12/24	主催	第４回幹事会兼ワーキング会議	国分公民館	17 名
1/27	主催	第５回幹事会兼ワーキング会議	オンライン	13 名

２　調査・研究に関する取組み

これまでと同様に関係機関と連携しながら特に重要な地質遺産についての現地調査を実施した。4 月 30 日、6 月 1 日の高千穂河原周辺調査は、井村隆介鹿児島大学准教授や環境省えびの管理官事務所、鹿児島県立博物館など関係機関と協力して実施し、2011 年の新燃岳噴火によって軽石や火山弾で覆われた中岳中腹探勝路等の現状を確認し、植生などの保全や今後の観光素材としての活用のあり方を議論した（写真）。

また、２月 26 日に霧島ジオパーク学術研究発表会を開催した。これは、令和３年度から開始した学術研究支援補助事業であり、鎮西学院大学教授山口弘幸氏が「霧島ジオパークにおけるユニバーサルデザイン化の推進に関する調査研究」に取組まれた。発表会では、各地域で誰もが参加できるコース設定の可能性について検証され、ユニバーサルデザイン・ジオツアー（案）を提案いただくなど、今後霧島ジオパークでユニバーサルツーリズムを推進していくうえで、大変貴重な研究成果の発表であった。

月日	分類	内容	場所	参加者
4/19	主催	高千穂峰調査登山	高千穂峰	3 名
4/30	主催	高千穂河原周辺調査登山	中岳中腹探勝路 他	25 名
5/23	主催	ミヤマキリシマの開花状況調査	中岳中腹探勝路	1 名
6/1	主催	高千穂河原周辺調査登山	中岳中腹探勝路 他	24 名
2/26	主催	霧島ジオパーク学術研究発表会	オンライン	

３　保全に関する取組み

６月 16 日に小林市のひなもり台で開催された地層観察イベントにおいて、当事務局スタッフが講師として施設敷地内の地層を案内し、これらの地質遺産を守り受け継いでいくことの大切さを参加者と共有することが出来た（写真左）。

その他、各団体が主催する霧島山の自然保護活動に参加し、環境保全活動を推進した（写真右）。

月日	分類	内容	場所／開催方式	参加者
6/16	協力	地層観察イベント （主催：ひなもり台県民ふれあいの森）	ひなもり台	32 名
8/1	参加	クリーン高千穂河原（主催：環境省）	霧島山周辺	ー名

４　教育に関する取組み

主催事業の「夏休み子ども火山スクール」が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止を余儀なくされたが、小・中・高等学校への出前講座は小学校 13 件（420 名）、中学校５件（237 名）、高校１件（260 名）実施し、野外活動（学校登山）へのガイド派遣は、小学校６件（342 名）、中学校１件（18 名）であった。

高校生によるフィールド研修では、７月９日に都城泉ヶ丘高校理数科１年の生徒が関之尾滝などのサイトを巡り、南九州で繰り返し起きた巨大噴火から都城盆地の成り立ちを探る研修を行い、７月 21 日は、国分高校理数科１年の生徒が新川渓谷の甌穴群などのサイトを巡り、地形・地質の観察から国分平野の成り立ちを探る研修を行った。

また、今年も静岡市立高校の生徒が霧島を訪れ、えびのエコミュージアムセンターの職員や霧島ジオガイドと一緒にサイトや施設の研修を行った。

月日	分類	内容	場所	参加者
4/28	協力	国分高校理数科２年研究計画発表会	鹿児島県立国分高校	40 名
7/9	協力	都城泉ヶ丘高校理数科１年フィールド研修対応	母智丘神社、関之尾滝	80 名
7/21	協力	国分高校理数科１年フィールド研修対応	新川渓谷、大出水ほか	40 名
7/27	協力	環霧島会議教育専門部会教員向けフィールドワーク	関之尾滝、御池ほか	20 名
9/24	協力	国分高校理数科２年研究経過発表会・第１回 SSH 運営指導委員会	国分シビックセンター多目的ホール	40 名
10/16	協力	宮崎地域資源ブランド児童生徒向け現地学習①	御池、ひなもり台	15 名
11/23	協力	宮崎地域資源ブランド児童生徒向け現地学習②	えびの高原	15 名
12/14-15	協力	静岡市立高校研修対応	えびの高原、霧島神宮ほか	35 名
12/15	協力	国分高校理数科２年研究成果校内発表会	鹿児島県立国分高校	40 名
1/28	協力	国分高校理数科２年研究経過発表会・第２回 SSH 運営指導委員会	オンライン	40 名

５　防災に関する取組み

火山専門家の鹿児島大学准教授井村隆介氏を講師に招き、観光・防災・自然保護等様々な分野の関係者を対象とした火山勉強会を実施した。えびの高原から大浪池までを歩き、霧島火山の成り立ちや最近の火山活動の状況などについて、2017 年の新燃岳噴火や 7,300 年前の鬼界カルデラ噴火の火山灰層などを一緒に観察しながら学び、火山のイメージを共有した。

月日	分類	内容	場所／開催方式	参加者
10/18	主催	火山勉強会	えびの高原、大浪池	15 名
12/16	後援	霧島ジオパーク講演会（主催：高原町） ～これまでの霧島山とこれからの霧島山～	高原町総合福祉センター ほほえみ館/オンライン	93 名

６　ジオツーリズムに関する取組み

令和３年度もコロナ禍の状況をみながら各種イベント等に取組む年となった。５月９日には、２年ぶり２回目の「山ヶ野金山めぐりと砂金さがしツアー」が、NPO 法人霧島ジオパーク友の会主催で開催され、山ヶ野金山の遺構や町並み等を見学し、近くの天降川で砂金さがしを行った。地球や火山の営みを参加者と共有した（写真左）。

10 月 13 日～16 日、霧島錦江湾国立公園を舞台にした新たな観光ツアーづくりのモニターツアーが、鹿児島県観光連盟主催で行われ、15 日に行われた高千穂峰登山へ事務局スタッフも参加し、キッチンハイクなど、登山の中でのいろんな楽しみ方を体験した。

10 月 31 日、霧島山の植生の特徴や魅力を地域住民に知ってもらうことを目的とした「霧島ジオパーク・秋の植生観察会」を霧島ジオガイド養成講座アドバイザーの奥村健一郎氏の案内で開催し、23 名

の参加者と高千穂河原周辺の植生を観察した。新燃岳 2011 年噴火の影響によって、霧島山の植生が大きく変わった様子を確認することが出来た（写真右）。

その他、環霧島地域内の観光事業者を対象とした、霧島ジオパークツアー商品造成補助事業については、２件（株式会社阪急交通社、南国交通株式会社）の申請があり地域サイト及びジオガイドを活用したツアー商品の造成が行われた。今後、参加者からの意見を次の事業展開に活用していく。

月日	分類	内容	場所	参加者
5/9	共催	山ヶ野金山めぐりと砂金さがしツアー（主催：NPO 法人霧島ジオパーク友の会）	霧島市横川町	12 名
8/20	参加	国立･国定公園での滞在型ツアー促進事業キックオフセミナー（主催：(公社)鹿児島県観光連盟）	オンライン	4 名
10/13-16	協力	国立･国定公園での滞在型ツアー促進事業モニターツアー（主催：(公社)鹿児島県観光連盟）	高千穂峰	2 名
10/31	主催	秋の植生観察会	高千穂河原周辺	23 名
11/27	後援	霧島ジオパーク・ウォーキング（主催：(一社)曽於市観光協会、曽於市、(一社)都城観光協会、都城市）	大川原峡～関之尾滝	14 名
3/4･11･14	共催	霧島錦江湾国立公園 霧島地域におけるジオツーリズムの可能性と地域ネットワークのカタチ（主催：環境省）	丸尾、御池　他	17 名

７　ジオガイドのスキルアップ等に関する取組み

ジオガイドのスキルアップを図るために、霧島ジオガイドネットワークの活動を支援した。コロナ禍の影響で中止を余儀なくされた回もあったが、計８回の例会と研修、他ジオパークガイドとの交流会が行われた（写真左：桜島・錦江湾ジオパークガイドとの交流会）。

また、７年ぶりの開催となるガイド養成講座を開講した。今回は、地球の視点で地域の魅力を発信できるガイド、ガイドで生計を立てていこうという高い目標を持ち自らチャレンジしていける主体的な方を対象に募集を行い、12 名の参加者により実施した（右：第４回ガイド養成講座）。

（※コロナ禍の影響により、実践講座は全８回中７回実施済み。残り１回と認定試験は、次年度実施。）

＜霧島ジオガイドネットワーク例会・研修＞

月日	分類	内容	場所
4/18	協力	第１回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：「えびの高原の魅力再発見」	えびのエコミュージアムセンター
6/20	協力	第３回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：「縄文期の霧島台地」	上野原縄文の森
7/18	協力	第４回霧島ジオガイドネットワーク例会 桜島・錦江湾ジオパークガイド交流会	えびの高原足湯の駅
10/17	協力	第７回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：「湧水と温泉のストーリー構築」	湧水町栗野中央公民館 栗野岳温泉八幡大地獄　ほか
11/21	協力	第８回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：「ＳＤＧｓを実感しよう！」	えびのエコミュージアムセンター
12/12	協力	第９回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：「霧島火砕流ものがたり」	曽於市財部中央公民館 溝ノ口洞穴
1/16	協力	第 10 回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：中止	小林市「KITTO 小林」
3/13	協力	第 12 回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：「白鳥山（周回）で会員の野外交流」	えびのエコミュージアムセンター

※第２回、第５回、第６回、第 11 回の例会と研修は中止。

※各回の研修は、会員以外でも参加可。（地域の観光関係ガイド、霧島ジオパーク関係者など）

＜ガイド養成講座・霧島ジオ講座（一般参加可）＞

月日	分類	内容	場所
10/9	主催	ガイド養成講座①実践講座	えびのエコミュージアムセンター
10/23	主催	ガイド養成講座②実践講座	霧島温泉市場
11/6	主催	ガイド養成講座③実践講座	国分公民館
11/27	主催	ガイド養成講座④実践講座	えびのエコミュージアムセンター
12/11	主催	ガイド養成講座⑤実践講座	上野原縄文の森
12/25	主催	ガイド養成講座⑥実践講座	えびの市歴史民俗資料館
1/15	主催	ガイド養成講座⑦実践講座	都城市コミュニティーセンター
11/5	主催	霧島ジオ講座①（地球と火山）	オンライン
11/18	主催	霧島ジオ講座②（火山と人間）	オンライン
12/2	主催	霧島ジオ講座③（霧島の植生）	オンライン
12/10	主催	霧島ジオ講座④（地球と環境）	オンライン
1/11	主催	霧島ジオ講座⑥（霧島ジオパークの楽しみ方）	オンライン
1/19	主催	霧島ジオ講座⑦（霧島ジオパークと霧島山の歴史）	オンライン
1/25	主催	霧島ジオ講座⑧（シラスを知り・活かす）	オンライン

※霧島ジオ講座⑤については、中止。

８　各プロジェクトチーム等に関する取組み

エリア拡大とガイド養成のプロジェクトチームの運営を行い、行政と民間の協働を推進した。

エリア拡大の取組については、令和２年度に拡大エリアにおける地域資源を洗い出し、新規サイト候補地をピックアップしていたことから、絞込み作業を進めサイト一覧を作成した。これを基に、各サイトの保全・活用状況等を示したサイトカルテを整備した。

ガイド養成の取組については、募集要項等を作成しガイド養成講座の実施に繋がった。

また、霧島ジオパーク基本計画の策定（改訂）の際には、教育・防災・観光部門等の関係者で構成する基本計画策定（改訂）会議を立ち上げ、官民協働で取組を進めた。

月日	分類	内容	場所	参加者
7/7	主催	第１回ガイド養成プロジェクトチーム会議	オンライン	12 名
7/28	主催	第２回ガイド養成プロジェクトチーム会議	オンライン	14 名
9/16	主催	第３回ガイド養成プロジェクトチーム会議	書面	16 名
11/9	主催	第１回霧島ジオパーク基本計画策定（改訂）会議	オンライン	16 名
11/25	主催	第２回霧島ジオパーク基本計画策定（改訂）会議	オンライン	11 名
12/8	主催	第３回エリア拡大プロジェクトチーム会議	オンライン	16 名

９　普及啓発に関する取組み

普及啓発に関しては、関係施設へのタペストリー、パンフレット、ポスター等の配置や構成自治体による講演会を後援した。その中で新たな取組として、霧島市の NPO 法人きりしま創造舞台が霧島ジオパークを舞台にした市民参加型ミュージカルを上演し、約 650 人の観客が観劇した。ミュージカルの中では、霧島ジオパークがどのような地域で、どのような活動をしているかを紹介するなど、観客にわかりやすく解説する場面もあり、観客からは「ミュージカルを通して人と自然の共存を学びました。」などの感想が聞かれ、新たな普及啓発のひとつとなった（写真左）。

その他、霧島ジオパークのホームページのリニューアルやサイト解説板（写真右）等の改修を行い、地域住民や霧島を訪れる方々に対して、より効果的な情報発信ができる体制の整備を行った。

/月日	分類	内容	場所
8/29	後援	市民参加型ミュージカル「パーパス～森の王様と八人の子供たち～」（主催：NPO 法人きりしま創造舞台）	霧島市民会館

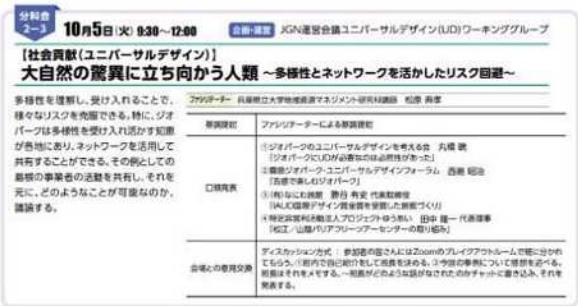
10/18	協力	霧島ジオパーク 10 周年記念巡回パネル展（31 日まで）	宮崎県庁
11/3	協力	宮崎地域資源ブランド関係展示（7 日まで）	イオンモール宮崎
12/15	協力	宮崎地域資源ブランド関係展示（1/30 日まで）	宮崎県総合博物館
3/26	後援	えびの市霧島ジオパーク講演会 （主催：えびの市、えびのガイドクラブ）	オンライン

10　JGN 関連会議への参加

JGN 関係の各種会議に参加し、全国のジオパーク関係者との交流を図った。

月日	分類	内容	場所／開催方式
5/26	参加	JGN オンラインカフェ	オンライン
5/28	参加	JGN 通常総会	オンライン
5/29	参加	日本ジオパーク新規申請プレゼンテーション	オンライン
5/30	参加	日本地球惑星科学連合大会ジオパークセッション	オンライン
6/6	参加	日本地球惑星科学連合大会ジオパークセッション	オンライン
6/19	参加	日本ジオツーリズム協会「日本全国ジオパークの旅」	オンライン
7/1.8 15.20	参加	日本ジオパーク委員会主催ジオパーク基礎研修会①～④	オンライン
8/23	参加	第１回 JGN 運営会議	オンライン
8/31	参加	JGN 全地域事務局長会議	オンライン
9/10	参加	第１回九州ジオパーク連絡会	オンライン
9/29	参加	第１回 JGN オンライン研修会（テーマ：持続可能な観光）	オンライン
10/3-5	参加	第 11 回日本ジオパーク全国大会島根半島宍道湖中海大会	オンライン
11/1	参加	日本地震学会ＷＥＢ学習会「ジオパークで使える地震学」	オンライン
11/18	参加	第２回 JGN オンライン研修（テーマ：ユネスコプログラム）	オンライン
12/24	参加	MAB 計画 50 周年記念シンポジウム	オンライン
1/19	参加	JGN 全地域事務局長会議	オンライン
1/25	参加	第３回 JGN オンライン研修（テーマ：多様な主体との連携・協働による事業づくりのヒント）	オンライン
1/29	参加	日本ジオパーク委員会審査基準検討会議	オンライン
2/20	参加	日本ジオパークお試し検定	オンライン
3/15	参加	JGN 全地域事務局長会議	オンライン
3/17	参加	解説板ワークショップ（主催：下北ジオパーク）	オンライン

11　ネットワークへの貢献に関する取組み



10 月 5 日に開催された、第 11 回日本ジオパーク全国大会島根半島宍道湖中海大会「ユニバーサルデザイン分科会」へ、霧島ジオパーク・ユニバーサルデザインフォーラムのメンバーがオンライン出演し、硫黄谷噴気地帯でのナイトツアーの事例発表を行った。第６回の霧島大会（平成 27 年度）から始まった「ユニバーサルデザイン分科会」をきっかけとして、日本中のジオパークにユニバーサルデザインの輪が広がりつつあることを実感した。

月日	分類	内容	場所／開催方式
10/5	協力	第 11 回日本ジオパーク全国大会島根半島宍道湖中海大会「ユニバーサルデザイン分科会」への出演（霧島ジオパーク・ユニバーサルデザインフォーラム）	オンライン
12/13	協力	全国火山系博物館協議会研修対応	えびの高原 高千穂河原　ほか
2/4	参加	室戸ユネスコ世界ジオパーク高校生国際交流会（鹿児島県立国分高等学校・鹿児島県立霧島高等学校）	オンライン

12　パートナーシップの推進

霧島ジオパークの推進に関する活動を通じて、相互発展と環霧島地域の持続可能な発展に寄与することを目的とした、パートナーシップ協定の推進を行っている。令和３年度においては、新たに３件の関係機関との協定締結を行った。これにより、協定締結団体は４箇所となった。

○宮崎県御池青少年自然の家（H28.11.17）
○公益財団法人鹿児島県文化振興財団上野原縄文の森（R4.4.1）
○鹿児島県立埋蔵文化財センター（R4.4.1）
○鹿児島県立霧島自然ふれあいセンター（R4.4.1）

13　新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止または延期となった主な行事

月日	分類	内容	場所
4/17	後援	霧島ジオパーク・ウォーキング（主催：(一社)曽於市観光協会、曽於市、(一社)都城観光協会、都城市）　※中止	大川原峡 ～関之尾滝

8/8	主催	夏休み子ども火山スクール　※中止	ひなもり台県民ふれあいの森
8/23-25	参加	第 17 回日本ジオパークネットワーク全国研修会 （テーマ：保全）　※次年度へ延期	栗駒山麓ジオパーク（宮城県栗原市）
8/29	後援	肥薩線・吉都線・日豊本線ぐるり１周ジオパークの旅 （主催：いざ霧島キャンペーン実行委員会）　※中止	隼人駅～吉松駅、霧島神宮駅～隼人駅
9/18	後援	天降川で砂金をさがそう （主催：NPO 法人霧島ジオパーク友の会）　※中止	霧島市横川町
1/23	参加	おおいたジオパークフェスタ（主催：大分県）　※中止	大分県大分市
1/26	後援	霧島ジオパーク講演会「ジオパークによる地域振興」 （主催：霧島ネイチャーガイドクラブ）　※中止	小林市文化会館
2/20	協力	桜島・錦江湾ジオパークとのガイド交流 （主催：霧島ジオガイドネットワーク）　※次年度へ延期	桜島

14　アクションプランの進捗状況

前回再認定審査時の課題解決のために令和元年度に策定したアクションプランについて、令和３年度終了時点の進捗状況を整理した。また、令和３年度に霧島ジオパーク基本計画等の振返りを行い、新たに第２次霧島ジオパーク基本計画及びアクションプランを策定したため、令和４年度からは、当計画に基づいて活動を行う。

No.	項目	令和３年度終了時点の状況	
1	**組織： 誰もが参加しやすい 仕組みづくり**	プロジェクトチームの運用	各専門部会の改編について協議し、現時点では専門部会を改編しての運用は行わず、案件については、行政と民間で組織するプロジェクトチームで運用することとなった。 令和３年度においては、２つのプロジェクトチーム（エリア拡大、ガイド養成）の活動を通じて、行政と民間の垣根を越えた協働を進めた。
2	**拠点： 現場拠点構築の検討と その活用**	えびの高原の施設の活用	昨年度に引続き、えびのエコミュージアムセンターや足湯の駅えびの高原を会議等で積極的に活用した。 新たな拠点施設の構築について、次期基本計画で検討を進めて行くこととした。
		高千穂河原ビジターセンター改修への協力	昨年度に引続き、令和４年度にリニューアルオープンが予定されている高千穂河原ビジターセンターの展示内容について、ジオパークの視点で監修協力を行った。

3	ガイド： さらなるレベルアップと新たな仲間づくり	ガイド養成講座の実施	令和３年度にガイド養成講座を開講した。今回は、これまでの募集要件を見直し、地球の視点で地域の魅力を発信できるガイド、ガイドで生計を立てていこうという高い目標を持ち、自らチャレンジしていける方を対象に募集を行い、12 名の参加により実施した。
		霧島ジオガイドネットワークの活動支援	毎月１回実施される例会及び研修会への支援を行った。また、ネットワークの規約改正を行い、地域のガイドや新たなガイド希望者など幅広い方が参加できるような体制と情報交換や研修などを主軸に活動していくこととした。
4	共有： 情報や認識の共有の強化	取組内容の共有及び各地域サイト研修	昨年度に引続き、四半期ごとの活動報告を関係者間で共有し、ホームページの「ニュースレター」にも公開した。情報共有については大幅に改善された。また、霧島ジオガイドネットワークの実施する各地域のサイトを活用した研修に各市町担当者等及び関係団体も参加し、地域を知る機会を設けた。
		各市町間の連携強化	運営体制の検討と強化のため、構成市町間での人的支援や業務の分担、事業での連携について協議を進めたが、新たな進展は得られなかった。引続き協議を進めて行く。
5	霧島の特性の深化： ネットワーク活動を意識した取組み	ジオ商品開発の推進	新たに作成した基本計画にジオ商品開発の推進に関する取組を盛り込み、ジオパーク活動を通して当地域の特産品・地場産業の価値を来訪者が認識し、これらの産業が活性化につながるような活動を展開していくこととした。

議案第４号

令和３年度霧島ジオパーク推進連絡協議会決算書(総括表)

歳　入　　（単位：円）

費　　目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C) (A)+(B)	収入済額(D)	増減額 (D)-(C)
１負担金	6,531,000	0	6,531,000	6,531,000	0
２繰越金	3,075,000	0	3,075,000	3,075,019	19
３諸収入	2,000	0	2,000	53	△ 1,947
合　　計	9,608,000	0	9,608,000	9,606,072	△ 1,928

歳　出

費　　目		当初予算額(A)	補正・流用額 (B)	予算現額(C) (A)+(B)	支出済額(D)	不用額 (C)-(D)
事業費	１報償費	321,000	0	321,000	287,000	34,000
	２旅　費	2,316,000	△ 2,024,000	292,000	17,600	274,400
	３需用費	882,000	0	882,000	846,818	35,182
	４役務費	458,000	△ 47,000	411,000	311,540	99,460
	５委託料	2,893,000	2,362,000	5,255,000	5,249,230	5,770
	６使用料 及び賃借料	632,000	0	632,000	138,600	493,400
	８負担金補助及び交付金	84,000	0	84,000	0	84,000
事業費合計(E)		7,586,000	291,000	7,877,000	6,850,788	1,026,212
事務費	３需用費	150,000	0	150,000	127,994	22,006
	４役務費	101,000	48,000	149,000	148,614	386
	７備品購入費	0	129,000	129,000	128,150	850
	８負担金補助及び交付金	1,771,000	△ 468,000	1,303,000	762,163	540,837
事務費合計(F)		2,022,000	△ 291,000	1,731,000	1,166,921	564,079
合計(E)+(F)		9,608,000	0	9,608,000	8,017,709	1,590,291

収入済額合計	9,606,072	①
支出済額合計	8,017,709	②
差引額	1,588,363	③(①-②)
次年度繰越額	1,588,363	

議案第４号

令和３年度霧島ジオパーク推進連絡協議会決算書(通常予算)

歳　入　　（単位：円）

費　目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C) (A)+(B)	収入済額(D)	増減額 (D)-(C)	説　明
１負担金	5,606,000	0	5,606,000	5,606,000	0	協議会構成5市1町負担金
２繰越金	3,067,000	0	3,067,000	3,067,152	152	
３諸収入	1,000	0	1,000	48	△ 952	預金利息
合　　計	8,674,000	0	8,674,000	8,673,200	△ 800	

歳　出

費　目		当初予算額(A)	補正・流用額(B)	予算現額(C) (A)+(B)	支出済額(D)	不用額 (C)-(D)	説　明
事業費	１報償費	321,000	0	321,000	287,000	34,000	各種行事講師謝金等
	２旅　費	1,716,000	△ 1,473,000	243,000	17,600	225,400	イベント準備時出張旅費等
	３需用費	882,000	0	882,000	846,818	35,182	公式ガイドブック印刷等
	４役務費	458,000	△ 48,000	410,000	310,990	99,010	保険料、広告費等
	５委託料	2,643,000	1,812,000	4,455,000	4,454,730	270	HPリニューアル業務、看板更新業務等
	６使用料及び賃借料	632,000	0	632,000	138,600	493,400	ガイド養成講座バス借上料
事業費合計(E)		6,652,000	291,000	6,943,000	6,055,738	887,262	
事務費	３需用費	150,000	0	150,000	127,994	22,006	事務消耗品等
	４役務費	101,000	48,000	149,000	148,614	386	郵送用切手代、送料、振込手数料等
	７備品購入費	0	129,000	129,000	128,150	850	デジタルカメラ、実験用器具等
	８負担金補助及び交付金	1,771,000	△ 468,000	1,303,000	762,163	540,837	JGN年会費、ツアー造成及び学術支援補助金等
事務費合計(F)		2,022,000	△ 291,000	1,731,000	1,166,921	564,079	
合計(E)+(F)		8,674,000	0	8,674,000	7,222,659	1,451,341	

収入済額合計	8,673,200	①
支出済額合計	7,222,659	②
差引額	1,450,541	③(①-②)
次年度繰越額	1,450,541	

議案第４号

令和３年度霧島ジオパーク推進連絡協議会決算書(特別予算)

歳　入　　（単位：円）

費　目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額 (C) (A)+(B)	収入済額(D)	増減額 (D)-(C)	説　明
１負担金	925,000	0	925,000	925,000	0	協議会構成5市1町負担金
２繰越金	8,000	0	8,000	7,867	△ 133	
３諸収入	1,000	0	1,000	5	△ 995	預金利息
合　　計	934,000	0	934,000	932,872	△ 1,128	

歳　出

費　目		当初予算額(A)	補正・流用額(B)	予算現額 (C) (A)+(B)	支出済額(D)	不用額 (C)-(D)	説　明
事業費	２旅費	600,000	△ 551,000	49,000	0	49,000	
	４役務費	0	1,000	1,000	550	450	
	５委託料	250,000	550,000	800,000	794,500	5,500	HPリニューアル業務、サイト看板更新業務
	８負担金補助及び交付金	84,000	0	84,000	0	84,000	
合計		934,000	0	934,000	795,050	138,950	

収入済額合計	932,872	①
支出済額合計	795,050	②
差引額	137,822	③(①-②)
次年度繰越額	137,822	

議案第４号

令和３年度 霧島ジオパーク推進連絡協議会 不用額調書

１通常予算

単位（円）

費目		当初予算額（A）	補正流用額（B）	予算現額（C）（A+B）	支出済額（D）	不用額（C-D）	不用額理由
事業費	２旅　費	1,716,000	△ 1,473,000	243,000	17,600	225,400	新型コロナウィルス感染拡大に伴い、全各種大会等の現地開催が中止となったため
事業費	６使用料及び賃借料	632,000	0	632,000	138,600	493,400	新型コロナウィルス感染拡大に伴い、モニターツアー及びガイド研修時バス借上げ料等が不用となったため
事務費	８負担金補助及び交付金	1,771,000	△ 468,000	1,303,000	762,163	540,837	学術研究支援補助金等の執行残。また、新型コロナウィルス感染拡大に伴い、各種大会等参加旅費補助金が不用となったため。

※不用額１０万円以上のみ記載

議案第４号

令和３年度　監査結果報告

霧島ジオパーク推進連絡協議会の令和３年度決算書、証拠書類及び関係帳簿等を審査した結果、適正に執行されていることを認める。

令和 4 年 4 月 11 日

霧島ジオパーク推進連絡協議会

監　事　白坂 勝弘　印

（（財）自然公園財団 えびの・高千穂河原支部所長）

令和 4 年 4 月 11 日

霧島ジオパーク推進連絡協議会

監　事　徳重 克彦　印

（（公社）霧島市観光協会会長）

※詳細は、別冊をご確認ください。

○第２次霧島ジオパーク基本計画（案）について

本計画では、２つの目指す姿と６つの取組方針を柱とし、取組の方向性及び実施項目を定め、『ジオパークを使って「火山活動に合わせた持続可能なまちづくり」を目指す。』ことを目的に計画を策定した。

計画策定の際は、各構成市町等幹事及び担当者による会議のほか、自治体以外の関係者を含む霧島ジオパーク基本計画策定会議での協議を行った。

また、地域住民からの声を反映するための手段として、エリア内の市町民等を対象としたアンケート調査の実施やパブリックコメントの募集を行い、意見を計画に盛り込んだ。

○霧島ジオパークアクションプラン（案）について

基本計画に定めた実施項目を達成するための具体的な事業内容を定め、計画終期までの目標を設定し、取り組むこととした。また、事業主体は協議会だけに限らず、関係機関や事業者、ガイド団体など、これまでと同様に地域全体で取り組んでいく。

なお、本計画は年度ごとに進捗管理を行うとともに、適宜見直しを行うこととしている。

○「霧島ジオパーク基本計画」総括表（前期）について

2015 年度に策定した基本計画の進捗状況について、これまでの取組内容・結果の振り返りを行った。振り返りにより、今後取り組む必要のある事項については、備考欄にまとめ、第２次基本計画に盛り込むこととした。

※2015 年度に策定した基本計画書は、2015 年度～2022 年度までの８年間の計画であるが、エリア拡大を含む内容へ大幅に改訂する必要があったため、現計画の改訂は行わず、第２次基本計画として、2022 年度から 2029 年度までの新たな８年間の計画を策定することとした。

○市町民等アンケート調査について

調査目的：霧島ジオパーク活動の認知度や関心をもたれていること、期待することなどを把握し、基本計画策定の基礎資料とする。

調査対象：15 歳以上　鹿児島県、宮崎県、一部他県を含む 1,144 サンプル

主な意見：自然環境など学べる場が不足している。
民俗や歴史の紹介をしてほしい。
自然災害について、火山噴火時の対応など知りたい。
学校でも子ども達に勉強する機会をつくってほしい。
霧島ジオパークにしかないものをもっと発信してほしい。
市民や企業などとの連携。
歴史文化と自然との関係をきちんと調査研究してほしい。　など

※アンケート調査でいただいた意見を基本計画（アクションプラン含む）に盛り込んだ。

議案第６号

令和４年度霧島ジオパーク推進連絡協議会事業計画（案）

令和４年度は、昨年度策定した「第２次霧島ジオパーク基本計画」及び「アクションプラン」に基づき、持続可能な地域社会の発展を実現すべく多種多様な事業を展開する。主要な事業は以下の通りである。

１　日本ジオパーク新規認定申請（エリア拡大）

（１）日本ジオパーク新規認定申請　プレゼンテーション

概要：今年度は４年に１回の再認定申請の年であるが、霧島ジオパークのエリアを５市２町の市町界全域に拡大しての申請を行うことから、従来のエリアから 10%以上の面積拡大に該当するため、新規認定扱いとなる。その新規認定申請の書類審査において、プレゼンテーションを実施する。

時期：５月２１日（千葉県：幕張メッセ）

（２）日本ジオパーク新規認定申請　現地調査

概要：新規認定申請の書類審査に引続き、ＪＧＣ調査員による現地調査が行われる。現地調査は、サイト視察や関係者等へのヒアリングなどが３日間程度実施される。

時期：７月～８月上旬

２　地域資源の保全管理・研究活動の推進

（１）サイトの保全管理

概要：サイトカルテによる地域住民と連携した保全活動を実施する。また、地域内の新たな資源の調査等を行い、重要なものについては最終的にサイトカルテを作成する。

時期：通年（プロジェクトチームによる）

（２）学術研究支援補助事業

概要：霧島ジオパークの地域資源を対象とした調査・研究に要する費用の一部を補助し、霧島ジオパークに関する学術的根拠に基づく資料の蓄積及び研究活動の活性化を図る。

時期：随時

３　普及啓発・教育・防災・人材育成

（１）Ｗｅｂサイト等を活用した情報発信

概要：地域住民や来訪者に対して、ホームページ等の内容の充実を図り、霧島ジオパークのよ

り効果的な情報発信につなげていく。また、各種イベントチラシ等へのロゴマークやキャラクター使用を推進し、霧島ジオパーク活動の普及啓発を行う。

時期：通年

（２）霧島ジオパーク学習発表会

概要：学校教育等におけるジオパーク学習支援として、小・中・高校生を対象とした学習発表会を新たに実施する。

時期：９月

（３）エリア拡大周知イベントの実施

概要：エリア拡大により新たなみどころとなった場所等を活用し、ジオの魅力や特性を体感することが出来るようなイベントを実施する。

時期：随時

（４）ガイドのスキルアップ研修

概要：霧島ジオガイドネットワークの活動を支援し、各員が自らの言葉でジオストーリーをわかりやすく伝えることができるガイドを目指すためのスキルアップ研修等を行う。

時期：通年

その他

夏休み子ども火山スクール（８月）、火山勉強会（11 月）

４　地域資源の活用・環境整備

（１）ジオ商品基準の作成

概要：当地域の特産品や地場産業が育まれたストーリー（当地域ならではの物語）を付したジオ商品開発を推進するため、今年度は、ジオ商品基準を作成する。併せて、既存商品の洗出し等を行う。

時期：通年

（２）拠点施設等と各種看板の整備

概要：拠点施設等の展示内容の適宜更新や総合案内板等の各種看板の更新を行い、来訪者等に地域資源の魅力をわかりやすく伝える。

時期：通年

その他

霧島山植生観察会（10 月）、霧島ジオパークツアー商品造成補助事業

５　推進体制の強化

（１）組織体制の見直し

概要：環霧島会議との統合に向けた協議により組織体制の見直しを行う。

時期：通年

（２）パートナーシップの推進

概要：企業団体等とのパートナーシップを推進し、霧島ジオパーク活動との相互連携を深め相互発展につながるような取組を行う。

時期：通年

６　ジオパークネットワークの活用

（１）全国大会・全国研修会・国際会議等への参画

概要：ジオパークネットワークの開催する全国大会や全国研修、国際会議等へ参画し、他ジオパークとの交流を通じて得た、経験や知見を霧島ジオパークの活動につなげていく。

時期：随時

（２）他ジオパークとの連携

概要：火山系ジオパークと連携した事業の検討を進め、相互に向上を図る。また、世界ジオパーク認定を見据えた、桜島・錦江湾ジオパークとの統合に向けた協議を行う。

時期：随時

＜図．霧島ジオパークのこれまでのあゆみ＞

ジオパーク申請・認定関係	年度	イベント主催関係
霧島ジオパーク推進連絡協議会発足	2008(H20)	
日本ジオパーク申請延期	2009(H21)	
日本ジオパーク申請・認定	2010(H22)	宮崎県南部口蹄疫被害
	2011(H23)	新燃岳 2011 年噴火
	2012(H24)	
世界ジオパーク推薦申請・認定見送り	2013(H25)	日本ジオパーク全国研修会開催
日本ジオパーク再認定	2014(H26)	
	2015(H27)	日本ジオパーク全国大会開催
世界ジオパーク推薦申請・認定見送り	2016(H28)	新燃岳 2017 年噴火
	2017(H29)	桜島・錦江湾ジオパークとの統合に関する協議の開始
日本ジオパーク再認定	2018(H30)	
新燃岳，えびの高原 2018 年噴火	2019(R01)	
	2020(R02)	
	2021(R03)	
日本ジオパーク申請	2022(R04)	

議案第７号

令和４年度　霧島ジオパーク推進連絡協議会当初予算（総括表）（案）

歳　入　　単位：千円

項目	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増減	説明
１負担金	7,018	6,531	487	
２繰越金	1,587	3,075	△ 1,488	
３諸収入	2	2	0	
歳入合計	8,607	9,608	△ 1,001	

歳　出　　単位：千円

項目	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増減	説明
事　業　費				
１　報償費	493	321	172	
２　旅費	3,257	2,316	941	
３　需用費	175	882	△ 707	
①消耗品費	65	64	1	
④印刷製本費	110	818	△ 708	
４　役務費	19	458	△ 439	
②広告費	0	352	△ 352	
③手数料	8	6	2	
④保険料	11	100	△ 89	
５　委託料	1,953	2,893	△ 940	
６使用料及び賃借料	392	632	△ 240	
８負担金補助及び交付金	2,053	84	1,969	
事業費計	8,342	7,586	756	
事　務　費				
３　需用費	160	150	10	
①消耗品費	160	150	10	
４　役務費	105	101	4	
①通信運搬費	75	71	4	
③手数料	30	30	0	
８負担金補助及び交付金	0	1,771	△ 1,771	
事務費計	265	2,022	△ 1,757	
歳出合計	8,607	9,608	△ 1,001	

議案第７号

令和４年度　霧島ジオパーク推進連絡協議会当初予算(通常予算)（案）

歳　入　　単位：千円

項目	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増減	説明
１負担金	5,922	5,606	316	協議会構成5市2町負担金
２繰越金	1,450	3,067	△ 1,617	
３諸収入	1	1	0	預金利息
歳入合計	7,373	8,674	△ 1,301	

歳　出　　単位：千円

項目	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増減	説明
１．事　業　費				
１　報償費	493	321	172	イベント時講師謝金等
２　旅費	2,697	1,716	981	JGN全国大会・会議等出席旅費
３　需用費	175	882	△ 707	
①消耗品費	65	64	1	イベント時消耗品等
④印刷製本費	110	818	△ 708	エリア拡大に伴う印刷物修正シール作成
４　役務費	17	458	△ 441	
②広告費	0	352	△ 352	
③手数料	6	6	0	イベント出店手数料
④保険料	11	100	△ 89	ジオツアー保険
５　委託料	1,381	2,643	△ 1,262	HP保守管理業務、えびのEMCジオパーク推進業務等
６使用料及び賃借料	392	632	△ 240	モニターツアー及びガイド研修時バス借上料等
８負担金補助及び交付金	1,953	0	1,953	JGN会費、ツアー商品造成及び学術研究支援補助金等
事業費計	7,108	6,652	456	
２．事　務　費				
３需用費	160	150	10	
①消耗品費	160	150	10	事務消耗品等
②燃料費	0	0	0	車両用燃料
④印刷製本費	0	0	0	印刷物増刷等
４役務費	105	101	4	
①通信運搬費	75	71	4	郵送・物品送料等
③手数料	30	30	0	振込手数料
④保険料	0	0	0	ジオツアー保険
８負担金補助及び交付金	0	1,771	△ 1,771	
事務費計	265	2,022	△ 1,757	
歳出合計	7,373	8,674	△ 1,301	

議案第７号

令和４年度　霧島ジオパーク推進連絡協議会当初予算案(特別予算)（案）

歳　入　　単位：千円

項目	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増減	説明
１負担金	1,096	925	171	協議会構成5市2町及び鹿児島県負担金
２繰越金	137	8	129	
３諸収入	1	1	0	
歳入合計	1,234	934	300	

歳　出　　単位：千円

項目	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増減	説明
３．事　業　費				
１　報償費	0	0	0	
２　旅費	560	600	△ 40	世界大会参加旅費
３　需用費	0	0	0	
①消耗品費	0	0	0	
②燃料費	0	0	0	
③食糧費	0	0	0	
④印刷製本費	0	0	0	
４　役務費	2	0	2	
①通信運搬費	0	0	0	
②広告費	0	0	0	
③手数料	2	0	2	振込手数料
④保険料	0	0	0	
５　委託料	572	250	322	総合案内看板更新
６使用料及び賃借料	0	0	0	
７備品購入費	0	0	0	
８負担金補助及び交付金	100	84	16	世界大会参加登録費
予備費	0	0		
事業費計	1,234	934	300	
歳出合計	1,234	934	300	

令和４年度霧島ジオパーク当初予算（総括表）（案）　構成市町負担金積算額

市　町　名	通常予算分 負担金額 （円）	特別予算分 負担金額 （円）	R4負担金額合計 （円）	令和3年度			
				対　支出確定額		対　当初予算編成時の額	
				負担金額	増減	負担金額	増減
				(F)	(E)-(F)	(G)	(E)-(G)
都　城　市	1,542,000	391,000	**1,933,000**	1,956,000	△ 23,000	2,139,000	△ 206,000
高　原　町	630,000	49,000	**679,000**	699,000	△ 20,000	724,000	△ 45,000
小　林　市	841,000	127,000	**968,000**	989,000	△ 21,000	1,050,000	△ 82,000
え び の 市	700,000	75,000	**775,000**	796,000	△ 21,000	832,000	△ 57,000
霧　島　市	808,000	152,000	**960,000**	1,033,000	△ 73,000	1,177,500	△ 217,500
曽　於　市	771,000	50,500	**821,500**	875,500	△ 54,000	928,000	△ 106,500
湧　水　町	630,000	24,500	**654,500**	0	654,500	0	654,500
鹿 児 島 県		227,000	**227,000**	182,500	44,500	184,500	42,500
（ 宮 崎 県 ）		(321,000)	**(321,000)**	(280,000)	41,000	(282,000)	39,000
合　　計	5,922,000	1,096,000	**7,018,000**	6,531,000	487,000	7,035,000	△ 17,000

※鹿児島県は、特別分にかかる鹿児島県内構成市（霧島市、曽於市、湧水町）の負担金に対し、1/2に相当する金額を負担金として計上予定。

※宮崎県は、特別分にかかる宮崎県内構成市町（都城市、高原町、小林市、えびの市）の負担金に対し、1/2に相当する金額を市町への補助金として計上予定。

※「令和３年度支出確定額」＝令和３年度協議会当初予算額

※「令和３年度当初予算編成時の額」とは、各団体が令和３年度当初予算に計上している額

令和４年度霧島ジオパーク当初予算（通常分）（案）　構成市町負担金積算額

市　町　名	負担金総額			5, 922, 000 円				負担金額 端数調整後 （千円）	令和3年度			
	均等割(20%)	人口割(80%)		金額(B)	小計	職員調整	調整後小計		対　支出確定額		対　当初予算編成時の額	
	584, 400	2, 337, 600			2, 922, 000	一律500, 000円			負担金額	増減	負担金額	増減
	金額(A)	人口(人)	負担金率		(A)+(B)= (C)	金額(D)	(C)+(D)		(F)	(E)-(F)	(G)	(E)-(G)
都 城 市	83, 486	160, 640	0. 41	958, 416	1, 041, 902	500, 000	1, 541, 902	1, 542, 000	1, 622, 000	△ 80, 000	1, 802, 000	△ 260, 000
高 原 町	83, 486	8, 639	0. 02	46, 752	130, 238	500, 000	630, 238	630, 000	653, 000	△ 23, 000	678, 000	△ 48, 000
小 林 市	83, 486	43, 670	0. 11	257, 136	340, 622	500, 000	840, 622	841, 000	877, 000	△ 36, 000	937, 000	△ 96, 000
えびの市	83, 486	17, 638	0. 05	116, 880	200, 366	500, 000	700, 366	700, 000	728, 000	△ 28, 000	764, 000	△ 64, 000
霧 島 市	83, 486	123, 135	0. 31	724, 656	808, 142	0	808, 142	808, 000	899, 000	△ 91, 000	1, 042, 000	△ 234, 000
曽 於 市	83, 486	33, 310	0. 08	187, 008	270, 494	500, 000	770, 494	771, 000	827, 000	△ 56, 000	879, 000	△ 108, 000
湧水町	83, 486	9, 119	0. 02	46, 752	130, 238	500, 000	630, 238	630, 000	0	630, 000	0	630, 000
合計	584, 402	396, 151	1. 00	2, 337, 600	2, 922, 002	3, 000, 000	5, 922, 002	5, 922, 000	5, 606, 000	316, 000	6, 102, 000	△ 180, 000
								OK				

※人口＝令和2年度国勢調査による

※負担金積算方法

１	負担金総額から職員調整額（霧島市採用専門員分）3, 000千円を差引く	5, 922, 000　-3, 000, 000	=	2, 922, 000
２	差し引いた額から２割分を均等割で算出	2, 922, 000 ×0. 2	=	584, 400
３	差し引いた額から８割分を人口割で算出	2, 922, 000 ×0. 8	=	2, 337, 600

４　均等割と人口割に職員調整額（500千円）を加え負担金額を算出（霧島市以外）

※「令和３年度支出確定額」＝令和３年度協議会当初予算額

※「令和３年度当初予算編成時の額」とは、各団体が令和３年度当初予算に計上している額

令和４年度霧島ジオパーク当初予算案（特別分）　構成市町負担金積算額

市　町　名	負担金総額　1,096,000　円					負担金額端数調整後小計(円)	両県負担・補助構成市町(1/2)	負担金額端数調整後(円)	令和3年度			
	均等割(20%)	人口割(80%)		金額(B)	小計				対　支出確定額		対　当初予算編成時の額	
	219,200	876,800			1,096,000				負担金額	増減	負担金額	増減
	金額(A)	人口(人)	負担金率(%)		(A)+(B)=(C)				(F)	(E)-(F)	(G)	(E)-(G)
都 城 市	31,314	160,640	0.41	359,488	390,802	391,000		391,000	334,000	57,000	337,000	54,000
高 原 町	31,314	8,639	0.02	17,536	48,850	49,000		49,000	46,000	3,000	46,000	3,000
小 林 市	31,314	43,670	0.11	96,448	127,762	127,000		127,000	112,000	15,000	113,000	14,000
えびの市	31,314	17,638	0.05	43,840	75,154	75,000		75,000	68,000	7,000	68,000	7,000
霧 島 市	31,314	123,135	0.31	271,808	303,122	304,000	152,000	152,000	134,000	18,000	135,500	16,500
曽 於 市	31,314	33,310	0.08	70,144	101,458	101,000	50,500	50,500	48,500	2,000	49,000	1,500
湧水町	31,314	9,119	0.02	17,536	48,850	49,000	24,500	24,500	0	24,500	0	24,500
鹿児島県							227,000	227,000	182,500	44,500	184,500	42,500
（宮崎県）						(321,000)	(321,000)	(321,000)	(280,000)	(41,000)	(282,000)	(39,000)
合計	219,198	396,151	1.00	876,800	1,095,998	1,096,000		1,096,000	925,000	171,000	933,000	163,000

OK

※人口＝令和2年度国勢調査による

※負担金積算方法

１　総額から２割分を均等割りで算出	1,096,000	×0.2	＝	219,200
２　総額から８割分を人口割りで算出	1,096,000	×0.8	＝	876,800

※「令和３年度支出確定額」＝令和３年度協議会当初予算額

※「令和３年度当初予算編成時の額」とは、各団体が令和３年度当初予算に計上している額

日本ジオパーク新規認定申請（エリア拡大）について

今年度は４年に１回の再認定申請の年ですが、今回は霧島ジオパークのエリアを構成自治体（５市２町）の領域全体へ拡大しての申請を行うことから、従来のエリアから 10%以上の面積拡大に該当するため、新規認定申請扱いとなります。

議案である、日本ジオパーク新規認定申請（エリア拡大）に係る申請書（案）については、先日４月７日に、会員・顧問・学術委員・アドバイザー等へ送付し、内容の確認（加筆・修正等）を依頼したところです。今後、皆様からいただいたご意見をもとに申請書を修正し、必要な資料を添付した上で日本ジオパーク委員会へ提出いたします。

なお、提出した申請書等については、５月に霧島ジオパークのホームページへ掲載しますので、ご確認ください。

霧島ジオパーク推進連絡協議会名簿

番号	区分	会員名等	氏名等
1	会員	都城市	市長　池田　宜永　様
2		都城市議会	議長　長友　潤治　様
3		高原町	町長　高妻　経信　様
4		高原町議会	議長　温谷　文雄　様
5		小林市	市長　宮原　義久　様
6		小林市議会	議長　森田　哲朗　様
7		えびの市	市長　村岡　隆明　様
8		えびの市議会	議長　竹中　雪宏　様
9		霧島市	市長　中重　真一　様
10		霧島市議会	議長　阿多　己清　様
11		曽於市	市長　五位塚　剛　様
12		曽於市議会	議長　久長　登良男　様
13		湧水町	町長　池上　滝一　様
14		湧水町議会	議長　仮屋　良二　様
15		宮崎県北諸県農林振興局	局長　愛甲　一郎　様
16		宮崎県西諸県農林振興局	局長　小野　正寛　様
17		鹿児島県姶良・伊佐地域振興局	局長　米盛　幸一　様
18		鹿児島県大隅地域振興局	局長　清藤　修　様
19		霧島商工会議所	会頭　鎌田　善政　様
20		(公社)霧島市観光協会	会長　徳重　克彦　様
21		南九州ケーブルテレビネット株式会社	代表取締役　山口　俊樹　様
22		霧島温泉旅館協会	会長　久永　靖　様
23		鹿児島県上野原縄文の森	園長　堂込　秀人　様
24		霧島市商工会	会長　中村　博美　様
25		霧島市特産品協会	会長　徳重　克彦　様
26		(一財)自然公園財団えびの支部・高千穂河原支部	所長　白坂　勝弘　様
27		宮崎地質研究会	会長　赤崎　広志　様
28		えびの市商工会	会長　白石　昌彦　様
29		南国交通（株）空港自動車営業所	所長　麻生　隆　様
30		えびの市観光協会	会長　福元　英雄　様
31		霧島市国際交流協会	会長　末廣　浩二　様
32		霧島市文化協会	会長　瀬戸口　浩　様
33		(一社)都城観光協会	会長　堀之内　芳久　様
34		(一社)都城青年会議所	理事長　佐伯 浩文　様
35		都城商工会議所	会頭　安田　耕一　様
36		霧島ネイチャーガイドクラブ	会長　古園　俊男　様
37		霧島ジオネット	代表　樋口　信義　様
38		小林まちづくり株式会社	代表取締役　柊崎　庄二　様
39		宮交ショップアンドレストラン株式会社	代表取締役　黒木　博 様
40		小林商工会議所	会頭　税所　篤朗　様
41		高原町観光協会	会長　原田　豊　様
42		高原町商工会	会長　原田　武寛　様
43		(一社)曽於市観光協会	会長　大津　亮二　様
44		(公社)鹿児島県地質調査業協会	理事長　梶原　景友　様
45		えびの青年会議所	理事長　阿野　大道　様
46		湧水町商工会	会長　西　光溥　様
47		（一社）霧島山麓湧水町観光協会	代表理事　永峯　周作　様
48	顧問	鹿児島大学名誉教授	岩松　暉　様
49		鹿児島大学総合科学域総合教育学系総合教育機構共通教育センター	井村　隆介　様
50		環境省えびの管理官事務所	国立公園管理官　黛　絵美　様
51		国土交通省九州地方整備局　宮崎河川国道事務所	事務所長　金納　聡志　様
52		林野庁九州森林管理局　鹿児島森林管理署	署長　永山　正一　様
53		林野庁九州森林管理局宮崎森林管理署都城支署	支署長　塚本　徹　様
54	学術委員	都城市教育委員会	文化財課　課長　桒畑　光博　様
55		高原町役場	町民福祉課　大學　康宏　様
56	アドバイザー	霧島ジオガイド養成講座アドバイザー	白池　図　様
57		霧島ジオガイド養成講座アドバイザー	奥村　健一郎　様
58		霧島ジオガイド養成講座アドバイザー	樋口　信義　様
59		霧島ジオガイド養成講座アドバイザー	古園　俊男　様